

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・はがき新聞や日記など、日常的に書く場面を設定し、句読点や段落構成などを意識させたことで、書く力が身に付いた。
- ・単元を貫く問いを設定した授業を展開したことで、見通しをもった単元学習に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・説明文で、文章と表やグラフ、写真とを結びつけて読み解くことに課題が見られる。
- ・目的や意図をもって話したり、聞いたりすることに課題が見られる。
- ・既習の漢字を使って文章を書くことに課題が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	・目標値より上回っている。	/	/
第5学年	・目標値よりやや下回っている。	・目標値よりやや下回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	・目標値よりかなり上回っている。	・目標値よりやや上回っている。 (第5学年時)	・目標値より上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・主語、述語などの文の構成については理解している。 ・漢字の書き取りに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くことについて、構成に気を付けて書くことができる。 ・段落の要点に注目して読むことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を次の学習に生かそうとする意識に課題が見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの配当漢字の書き取りに課題が見られる。 ・文の構成のうち、連用修飾語の扱いについて課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を考えながら、話を聞くことができる。 ・構成に気を付けながら文章を書くことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習自体には進んで取り組むが、生活と結び付けて考えたり、より発展的な考えを出し合ったりすることに課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 平仮名や漢字などミニテストやプリント学習を繰り返し行い、定着を図る。 多層指導モデル（MIM）の教材を活用し、視覚化や動作化を取り入れながら言語理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵や叙述を基に読み取る力を育てるために、大事な言葉にサイドラインを引かせる。 理由を付けて話したり書いたりできるように、「理由は～」「～だから」などの言葉を使って話せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の際に、一貫した問いを設定したり、発問を工夫したりすることで、見通しをもち、意欲的に学習に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字を使う意識を高めるために、漢字を使った文章を書く機会を計画的に確保する。 慣用句やことわざ、故事成語など、伝統的な言語文化に多く触れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に文章を読み取る力を育てるために、文の種類には、情景描写や問い、事例などの様々な種類があることを理解させる。 内容のまとまりで段落が分かれた文章が書けるよう、文章を書く際に文章構成表を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを児童が確実に理解し、次の学習に生かしたり、生活と結びつけたりできるように、授業の展開を工夫する。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字を使う意識を高めるために、書いた文章を見直すことを習慣化する。 文の構成についての理解の定着を目指し、文法に気を付けて作文を書いたり、互いに読み合って評価し合ったりする。 文章表現を豊かにしたり、語彙力を伸ばしたりすることを目指し、学習した内容をはがき新聞にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や資料、グラフなど、自分の考えを表現する方法を工夫させ、自分の考えが伝わりやすい方法について理解させる。 他の人と考えを比べたり、書いたものを評価し合ったりさせることで、相手や目的を意識して考えを表現する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く考え続けたり、今までの学習を生かして考えをまとめたりできるように、教師からの発問を工夫したり、積極的に他の人と関わらせたりしていく。